



2022年8月分

 TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
 東京税関羽田税関支署


羽田空港貨物取扱量

総取扱量は7ヵ月連続減、積込量は8ヵ月連続減、取卸量は6ヵ月連続減



概要

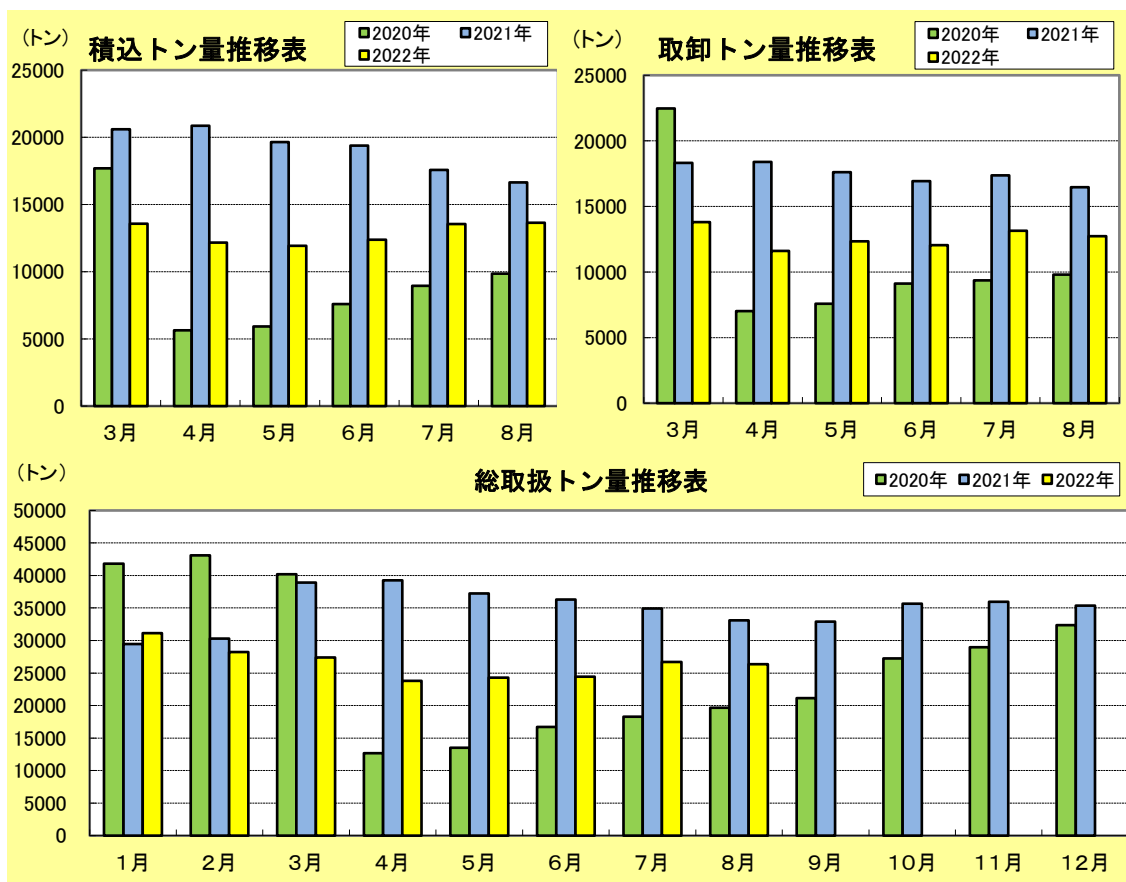
2022年8月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 26,381トン(前年同月比 20.3%減)

積込量 13,642トン(同 18.1%減)

取卸量 12,739トン(同 22.6%減)

となり、前年同月比でみると、総取扱量は7ヵ月連続、積込量は8ヵ月連続、取卸量は6ヵ月連続でマイナスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出力

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 859トン(前年同月比 28.7%減、シェア 12.6%)

その他地域通関 5,952トン(同 24.8%減、同 87.4%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関は6カ月連続、その他地域通関は7カ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 3,393トン(前年同月比 26.5%減、シェア 45.2%)

その他地域通関 4,120トン(同 24.2%減、同 54.8%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、6カ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 6,831トン(前年同月比 9.4%減)

取卸量 5,226トン(同 18.4%減)

となり、前年同月比でみると、積込量は9カ月連続でマイナス、取卸量は8カ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年8月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 873トン(前年同月比 21.4%減、シェア 25.7%)

ドライ貨物 2,520トン(同 28.1%減、同 74.3%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等14.6%(前年同月比33.4%減)、水産物19.3%(同36.8%減)、果物22.6%(同28.7%減)、植物(切花等)26.8%(同47.6%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年8月			2021年8月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	3,393	73.5%	100.0%	4,614	144.7%	100.0%
生鮮	873	78.6%	25.7%	1,110	169.5%	24.1%
ドライ	2,520	71.9%	74.3%	3,504	138.3%	75.9%